

(令和2年11月27日)

昨日、11月26日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、市内で新たに128例目(県内145例目)となる感染者が確認されました。

この方は、松江市在住です。年齢・性別につきましては、本人のご意向により、また、調査により接触者がおおむね把握できていることから、公表を差し控えさせていただきます。

この方は、11月24日に発熱、翌25日には解熱したものの、のどの痛みの症状があり、市内の医療機関を受診しておられます。

同25日に、患者から鳥取県56例目との接触歴があるとの相談があり、昨日26日、松江保健所で受診調整のうえ他の市内医療機関を受診、島根県保健環境科学研究所でのPCR検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

症状は軽いことから、保健所の指導の下に自宅で待機をしていらっしゃいましたが、本日、感染症対策を講じた医療機関に入院されたところです。

現在、患者の行動歴調査及び濃厚接触者の調査を実施しておりますが、調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広い検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

松江市では昨日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、市長からも市民の皆様には、感染症拡大防止のため、「まめに手洗いをする」、「常にマスクを着用する」、「3つの密を避ける」、「換気をする」などの徹底と、感染リスクが高まる飲食などの「5つの場面」について感染予防に心掛けていただくようお願いしています。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。感染への不安から、偏見や差別、誹謗中傷などにより、患者やその関係者を傷つけたりすることなく、励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。